

## 《第14回生態人類学会研究大会 サークュラー》

### 【研究大会について】

■ 日時：2009年3月22日(日)～23日(月)

22日の11時から受付を開き、13時30分より研究大会をはじめます。

23日は13時に研究大会終了の予定です。

■ 会場：ホテル甲斐路

山梨県笛吹市石和町川中島1607-40

TEL：055-262-7373 FAX：055-263-5677 <http://www.kaiji.co.jp/>

■ 大会当日にご用意いただくお金(22日の宿泊費、23日の昼食代金を含みます)

□ 学会員・非学会員ともに

有職者：18,000円(学術振興会特別研究員なども含みます)

学生：11,000円(大学院生、研究員、学部生など)

(内訳)

・学会員の方：大会参加費(22日の宿泊費・23日の昼食代を含む)および年会費

・非学会員の方：大会参加費(22日の宿泊費・23日の昼食代を含む参加費)

大会参加費および年会費は当日、会場でのみ徴収いたします。参加をとりやめる方は★3月13日(金)

★までご連絡ください。13日までに連絡がなかった場合には参加費をいただきます。

■ 会場までのアクセス

□ 石和温泉駅から会場まで

石和温泉駅から会場まで2km程度です。

当日、石和温泉駅への列車の到着に合わせてホテル甲斐路から

迎いのマイクロバスを出していただきますので、ご利用ください。

□ 各地域から石和温泉駅まで公共交通をつかった場合のアクセス

【東京駅から】

・JRをつかった場合

東京駅10:11発(中央線快速)→新宿駅10:25着・10:30発(かいじ103号)→

石和温泉駅12:03着

【名古屋駅から】

・JRをつかった場合

名古屋駅9:00発(ワイドビューしなの5号)→塩尻駅10:52着・11:05発(中央本線普通高尾行)→上諏

訪駅11:26着・11:31発(スーパーあずさ14号)→

甲府駅12:11着・12:17発(中央本線普通八王子行)→石和温泉駅12:24着

・高速バスとJRをつかう場合

名古屋駅 7:30 発(高速バス:名古屋ライナー甲府2号)→

甲府駅南口 11:39 着・甲府駅 12:17 発(中央本線普通八王子行)→石和温泉 12:24 着

【京都駅から】

・JRをつかった場合〔例1〕

京都駅 7:53 発(のぞみ68号)→新横浜駅 9:54 着・10:14 発(横浜線快速八王子行)→

八王子 10:53 着・11:03 発→石和温泉 12:03 着

・JRをつかった場合〔例2〕

京都駅 7:16 発(のぞみ64号)→名古屋駅 7:51 着・8:00 発(ワイドビューしなの3号)→

塩尻 9:52 着・10:03 発(あずさ12号)→甲府駅 11:05 着・11:09 発→石和温泉 11:16 着

【マイカーで会場まで】

中央高速道路一宮御坂ICより国道137号線(御坂みち)を国道20号線方面に直進し、坪井交差点を直進して県道312号線に入る。熊野神社南交差点を左折後、突き当たりを左折。石和温泉郷東入口を直進し、山梨温泉病院前を左折後300m。



■「大会のご案内」からの変更点

研究大会の終了時刻を★23日(月)13時★といたしました。

■事務局からのお願い

1)大会参加費及び今年度会費のお支払いについてのお願い

大会当日に大会参加費と今年度会費を受付にていただきます。

受付がスムーズになるよう、なるべくおつりのないようをお願いいたします。

2)送迎バスについて

22日(日)の電車の到着時刻に合わせてJR石和温泉駅前から会場までお迎えのバスを用意いたします(乗車料はかかりません)。

バスは特急電車が到着する11:35、12:03、12:35を目安に運行いたします。

石和温泉駅を出て左にお進みいただくと案内係がプラカードを持って待っております。

大会終了後もバスで石和温泉駅までお送りします。

3)大会2日目の昼食について

最初にお知らせしたように大会終了は23日の13時となりました。

23日の昼食にはお弁当を用意いたします。昼食の料金は参加費に含まれております。

★ お弁当が不要な方(早めにお帰りになる方など)★は、3月10日(火)までに  
件名に「弁当不要」、本文にお名前を記したメールを  
ecoanth14.rekihaku@gmail.com宛にお送りください。  
なお、昼食の料金は返金できません。ご了承ください。

【大会プログラム】

■3月22日(日)13:30-19:00■

○ 開会のあいさつ、事務連絡

- ・ 口頭発表
- ・ ポスターセッション

(19:00- 夕食・懇親会)

■3月23日(月)9:00-13:00 (12:00-13:00 昼食)■

○ 総会

- ・ 口頭発表
- 会長あいさつ、昼食後 13 時に解散

【発表者と題目】(仮題)

--口頭発表--

島田将喜	ニホンザルのコドモの「取っ組み合い」 —ビデオ分析を用いた「遊び」の研究の展望
蒋宏偉	小型 GPS と加速度計をもちいた人間の行動評価の試み
宮内泰介	半栽培・地域組織・レジティマシー —宮城県・北上川河口地域のヨシ原を事例として
泉直亮	よい繁殖メス牛とは何か —北上山地における短角牛農家の実践と品種改良政策との対比を事例として
若林大我	中央アンデス高地における居住環境と家畜利用
三浦哲也	東マレーシア・ドゥスン族社会における飲酒文化の変容
田所聖志	パプアニューギニア、テワダ社会の食生活
浅井健一郎	タンザニア西部における散村の構造
林耕次	狩猟採集民バカの生活時間—半定住集落と森林キャンプの比較
山口未花子	ヘラジカとビーバーとクロテン —カナダ先住民カスカの動物利用に関する知識と世界観—

--ポスター発表--

西川真理	ニホンザルの採食樹選択から生態的知性仮説は支持されるか
平井将公	西アフリカ・サバンナ帯の人口稠密地域における生業変容と植生管理 —セネガルのセレール社会を事例として—
小笠原輝	富士北麓のスズタケ細工からみた社会変化とその対応
内藤直樹	北ケニア牧畜民アリアルルの自発的再牧畜化と新たな牧畜集落の構築
河合文	生業集団における知識の共有に関する研究:八重山の畜産農家を事例として
安高雄治	マダガスカル南西部の乾燥地帯における焼畑耕作